



2023年7月7日
浅舞酒造株式会社
秋田県
東北電力株式会社

「浅舞酒造株式会社」にて再生可能エネルギーの地産地消を実現！
～ 「あきたEネ！オプション水力100%」による供給を開始 ～

浅舞酒造株式会社（代表取締役社長：柿崎 常樹、以下「浅舞酒造」）は、秋田県（知事：佐竹 敬久）および東北電力株式会社（取締役社長 社長執行役員：樋口 康二郎、以下「東北電力」）が共同で提供する「あきたEネ！オプション水力100%」への加入を通じて、2023年6月3日より、地元秋田のCO2を排出しない電気の使用を開始いたしました。

これに伴い、6月16日に秋田県と東北電力から浅舞酒造へ認証書を交付いたしました。

「あきたEネ！オプション水力100%」は、秋田県内においてCO2排出量削減に取り組む企業等に向けて、CO2を排出しない県営水力発電所の電気を供給することで、再生可能エネルギーの地産地消に繋げる取り組みです。

日本酒の原材料となる米と水。浅舞酒造では、1986年より、いち早く特級規格の純米酒製造にも取り組み、秋田県では初めて商品として発売を開始しました。2010年には、減農薬減化学肥料米「秋田酒こまち」で全国新酒鑑評会10回目の金賞を受賞し、これを機に念願の全量純米酒仕込みをスタートさせています。

近年、日本酒は世界各国で注目され、その需要が伸びてきていることから、これまで以上に原材料や製造環境について世界基準で対応しなければならないと考えております。そこで、原料米の栽培地や栽培方法などを生産者の方の協力を得ながら見直し、未来につながる酒作りの一歩を踏み出しました。

今回、日本酒を製造する際に使用するエネルギーという観点から、新しい取り組みとして「あきたEネ！オプション水力100%」に加入いたしました。この度の加入をカーボンニュートラル実現に向けた一歩とし、「酒は田んぼから生まれる」という信条を未来志向で持続させていきたいと考えております。

秋田県および東北電力は、「あきたEネ！オプション水力100%」の提供を通じて、秋田県内で事業を営む企業等に対し、再生可能エネルギーの電気を供給することにより、企業価値の向上等による県内企業等の発展に貢献できればと考えております。

以上

（別紙）「あきたEネ！オプション水力100%」の概要について

【お問い合わせ先】

浅舞酒造株式会社

TEL0182(24)1030

秋田県 産業労働部公営企業課

TEL018(860)5012

東北電力株式会社 秋田支店企画管理部門（総務広報）

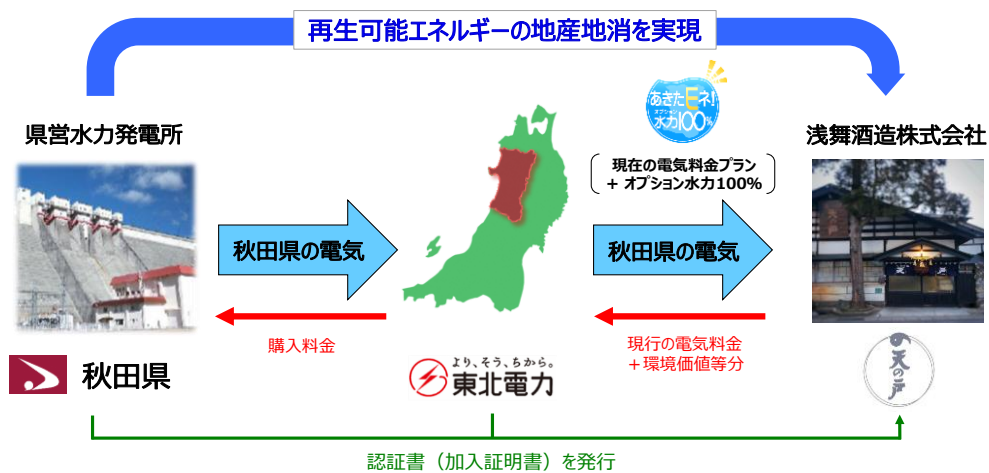
TEL018(848)5312

(別紙)

「あきたEネ！オプション水力100%」の概要について

「あきたEネ！オプション水力100%」は、秋田県内で、CO₂排出削減に取り組む企業等に向けて、CO₂を排出しない地元秋田の県営水力発電所の電気を供給するプランです。

<「あきたEネ！オプション水力100%」のスキームイメージ>



■ 「あきたEネ！オプション水力100%」の特徴

- ✓ 電気の使用に伴うCO₂排出量ゼロを実現し、「地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）」の報告等にも活用いただけます。
- ✓ 秋田県内の企業等のお客さまを対象とした地産地消の電気料金プランであり、秋田県産の水力発電のご利用をPRいただけます。

以 上